



Google Earth を用いた集集鎮における 都市復興デジタルアーカイブズの構築

村尾修¹⁾、宮本篤²⁾、川崎拓郎³⁾

1) 筑波大学大学院システム情報工学研究科、准教授 博士 (工学)

2) 東京消防庁、修士 (環境科学)

1) 筑波大学大学院システム情報工学研究科、博士前期過程

e-mail : murao@risk.tsukuba.ac.jp

要 約

筆者らは、1999年台湾集集地震で被災した集集鎮を継続的に調査し、その復興過程を記録してきた。そして、被災から復興までの過程や復興と関連する主要施設の情報を仮想の3次元都市空間上に表現し、都市復興アーカイブズとしてGoogle Earth上に構築した。本稿では、それが構築されるまでの経緯を方法論としてまとめ、具体的な内容について報告する。また空間情報技術の進歩と歴史的な都市形成の観点から、復興過程を仮想のデジタルアース上に記録する意義についても触れる。

キーワード： 1999年台湾集集地震，集集，都市復興アーカイブズ，Google Earth，デジタルシティ，時空間